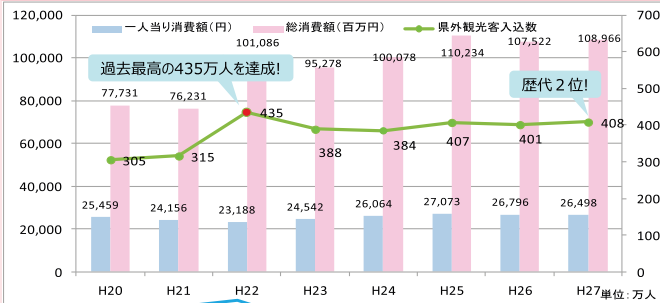


II ～観光の推進～

◆全国に通用する観光地づくりの主な取り組み

これまでの取り組みによる成果



NHK大河ドラマ「龍馬伝」の追い風、官民挙げての「土佐・龍馬であい博」の取り組みにより、平成22年は400万人観光、1,000億円産業を実現。反動減が懸念された翌年以降の県外観光客入込数も、平成21年以前に比べて高い水準を維持。平成27年はゴールデンウィーク、シルバーウィークの入込が好調であったことに加え、高知家プレミアム旅行券の実施もあり、3年連続で400万人観光を達成。

地域観光の推進

- 地域人材の育成による魅力的な観光商品づくり
 - ・地域観光の担い手を育成するため、「広域観光みらい会議」を開催し、延べ483人が参加(H26～27年度)
 - ・「土佐の観光創生塾」を中央・東部地域と西部地域で開催し、地域コーディネーターによる個別フォローなどにより受講者の観光商品造り能力を強化(60名参加)
- 広域観光組織の取り組み
 - 現在、県内で6組織(地図上の黄色囲み)は、広域で観光振興に取り組む組織
- 地域博覧会の開催
 - [幡多地域] 楽しまんとはた博 H25.7.1～12.31
 - [安芸地域] 高知家・まるごと東部博 H27.4.29～12.23
 - [高幡地域] 2016奥四万十博 H28.4.10～12.25
- 体験プログラム等の磨き上げ
 - ・アドバイザーによるガイド・インストラクター研修等を実施し、体験プログラムの質の向上に繋げる⇒4,567名参加(H21～27年度)
 - ・体験ツーリズムの推進による交流人口の拡大
 - ・漁業体験メニューをプログラム化し、旅行商品として整備(整備済:9地区)
- 地域の周遊を促す取り組み
 - ・JR高知駅南口に高知観光情報発信館「とさでらす」を設置し、東西の広域観光案内所とともに観光客の周遊をサポート

効果的な広報・セールス活動の推進

- 観光キャンペーン「リョーマの休日～高知家の食卓～」の実施
 - ・龍馬パスポート発行:146,902人(H28.3.31現在)
 - ・「高知家の食卓」県民総選挙の実施
- 官民一体となった旅行会社向けセールスキャラバンの実施
- 首都圏等のマスメディアでの情報発信
 - ・県外事務所や地産外商社との連携によりマスメディアへのパブリシティ活動を強化し、201件の露出を実現(H27年度)
 - ・広告換算 29.6億円(H26年度) ⇒55.6億円(H27年度)

◆地域の観光資源の磨き上げ・体験メニューの主な取り組み



※(AP) …地域アクションプランに掲げられている取り組み

おもてなしの向上

- 受入態勢の整備
 - ・県外観光客に対する満足度調査の実施
 - ・観光ガイド団体の増加
H20年度:14団体 → H26年度:28団体
 - ・高知県観光ガイド連絡協議会の設立(H23.3月)
 - ・おもてなしトイレの認定 計721件
- 二次交通の整備
 - ・MY遊バスの運行
 - ・四万十・足摺エリア周遊観光バスの運行
 - ・おもてなしタクシーの利用促進とタクシーの接客向上(稼働ドライバー:約300名)

スポーツツーリズムの推進

- プロスポーツの誘致活動
 - ・プロ野球球団やプロサッカーチームのキャンプ等の誘致活動
- スポーツイベントの開催
 - ・ミスノグローイングアップリーグ、県知事杯サーフィン大会in平野、中土佐タッチエトリアスロン、四万十・足摺無限大チャレンジライド、高知龍馬マラソン、全国大学女子硬式野球選手権高知大会、東京6大学野球オールスター大会等
- 合宿の誘致
 - ・スポーツ合宿 H26:30,819人泊 → H27:33,923人泊

国際観光の推進

- 東アジアを主要なターゲットにした誘致活動の推進
 - ・台湾、香港等の旅行会社へのセールス活動の実施
合計49便 5,357人が来高(H21～27年度)
 - ・海外Webサイトの開設や海外イベントへのよさこい参加による情報発信
 - ・国際ジオパークツーリズムネットワークの構築
 - ・外国人観光客 H23:1.6万人泊 → H27:7.0万人泊(速報値)

III ~地産の拡充と、担い手の育成・確保~

◆ 生産地の足腰を強める主な取り組み

次世代型こうち新施設園芸システムの普及

○次世代施設園芸団地(四万十町) 4.3ha(H28.7月~営業開始)
○環境制御機器の導入面積
H26年度:59ha→H27年度:95ha

まとまりによる農業生産技術のレベルアップ

○「学び教えあう場」設置数 H20年度:123→H26年度:207
○篤農家数 H20年度:123名→H26年度:207名
○参加率 H20年度:43.5%→H26年度:61.3%

消費者に選ばれる産地づくり

○環境保全型農業を県内全域・全品目に普及させるため、IPM(総合的な病害虫や雑草の管理)技術の普及や有機農業の推進、オランダとの交流などを実施
・IPM技術体系数 H20年度:5品目→H26年度:11品目
・ナス類天敵導入面積率 H20年度:26%→H27年度:97%
・ピーマン類天敵導入面積率 H20年度:48%→H27年度:93%
・オランダウェストラント市-高知友好園芸農業協定の締結(オランダの技術者を招き、技術セミナーを開催)

中山間地域の農業を支える仕組み

○こうち型集落営農組織数:32(H28.3月末)
○集落営農組織数:204(H28.3月末)
⇒うち16組織が法人化
四万十町影野、黒潮町稲荷、宿毛市中央、四万十町平野、土佐清水市宗呂、四万十町志和、四万十町藤ノ川、四万十町入田、高知市沖名、四万十町床鍋、四万十町藤ノ川、黒潮町小川、土佐清水市三崎、香美市加茂、四万十町田野川甲、中土佐町長野、横野々
○中山間農業複合経営拠点数:4(H28.3月末)

成熟した森林資源をダイナミックに活用する仕組みが動き出す

○平成25年8月の「高知おとよ製材」の稼働に続き、平成27年には、県内2ヶ所で木質バイオマス発電所が稼働を開始

原木生産の拡大に向けた「森の工場」の推進

○効率的・計画的に木材生産を行う「森の工場」の整備
H27年度末:177工場 67事業体 65,980ha

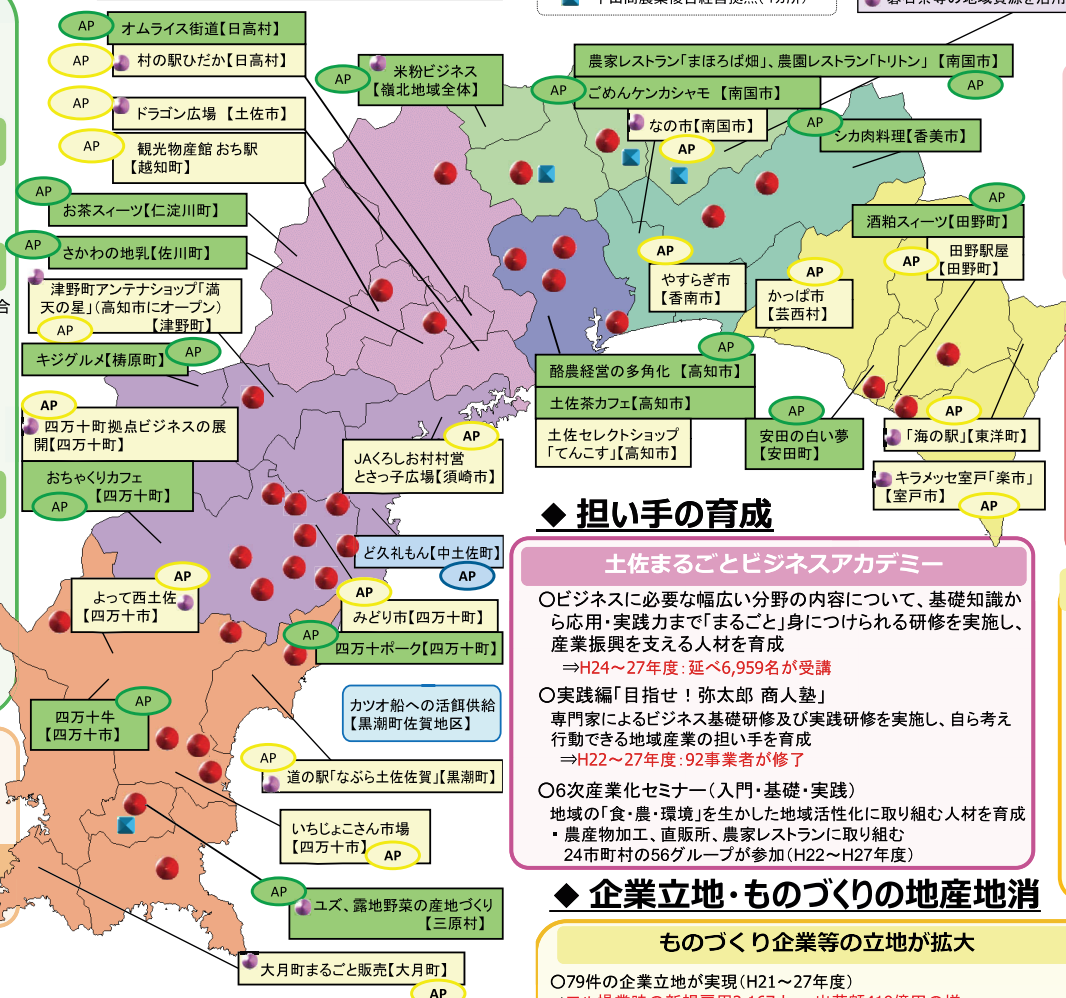
種苗生産・中間育成ビジネスの育成

○カンパチ人工種苗の量産技術開発を開始(H24.12月)し、H27年度には17万尾の量産に成功
○クマガロ養殖用種苗の確保に向け、H26年度から人工種苗の生産技術開発に着手し、H27年度には1千尾の沖出しに成功

活餌の供給でカツオの地元水揚げを増大

○カツオ一本釣用活餌(生きたイワシ)の供給事業を黒潮町佐賀地区でH22.1月から開始
⇒黒潮町佐賀地区へのカツオ水揚げ促進(H27年度:202,017千円)

◆ 地産の強化に向けた主な取り組み



◆ 食品加工の取り組み

農産加工の取り組みが前進

○計画実行開始を契機に地域アクションプラン等により、農産加工の取り組みを推進
○産地地消・産地外需につながる動きも本格化

ユス搾汁施設の大幅な強化

○産業振興計画の取り組み開始後に4施設が搾汁能力を大幅に強化。加えて、全搾汁施設(8施設)が県版HACCPを取得し、果汁の品質向上とブランド化を推進

水産加工の取り組みが前進

○宿毛湾の優位性を生かした加工事業の展開
・競合相手の少ない夏季に出荷できる養殖ブリを中心とした養殖魚の前処理加工が拡大
H27:ブリ約74,000尾を加工出荷
○地域アクションプランで17件の事業化を支援

- 拠点ビジネス(13カ所)
・中山間地域において地域の中核となる組織を核にした加工、直販、農作業の受委託等の多角的な事業を展開
- こうち型集落営農組織(32カ所)
- 中山間農業複合経営拠点(4カ所)
- 碁石茶等の地域資源を活用した地域産業の再生【大豊町】

※(AP) ... 地域アクションプランに掲げられている取り組み

◆ 担い手の確保

農林漁業を支える担い手を育てる

- 新規就農者数が増加
H20年度:114人 → H26年度:261人
- 林業従事者が増加
H26年度:1,602人(H20年度から61人増)
- 新規漁業従業者が増加
H24~26年度 平均:37名/年 H27年度 47名

県外からの移住が拡大

- 移住・交流コンシェルジュを配置(10名:H27~)
- ・データベースを活用し、移住希望者に対してきめ細かなフォローアップを実施
- ・移住相談件数(県の相談窓口)
H24年度:789件 → H25年度:1,076件
→ H26年度:1,954件→H27年度:1,820件
- ・移住者数(県・市町村の相談窓口等で把握した人数)
H24年度:121組225人 → H25年度:270組468人
→ H26年度:403組652人 → H27年度:518組864人

◆ 担い手の育成

土佐まるごとビジネスアカデミー

- ビジネスに必要な幅広い分野の内容について、基礎知識から応用・実践まで「まるごと」身につけられる研修を実施し、産業振興を支える人材を育成
⇒H24~27年度:延べ6,959名が受講
- 実践編「目指せ! 弥太郎 商人塾」
専門家によるビジネス基礎研修及び実践研修を実施し、自ら考え行動できる地域産業の担い手を育成
⇒H22~27年度:92事業者が修了
- 6次産業化セミナー(入門・基礎・実践)
地域の「食・農・環境」を生かした地域活性化に取り組む人材を育成
・農産物加工、直販所、農家レストランに取り組む
24市町村の56グループが参加(H22~H27年度)

◆ 企業立地・ものづくりの地産地消

ものづくり企業等の立地が拡大

○79件の企業立地が実現(H21~27年度)
⇒フル操業時の新規雇用2,167人、出荷額419億円の増

中山間地域等における産業の創出

○中山間地域等で市町村等が運営するシェアオフィスへの入居促進と、入居事業者の事業活動を支援
支援箇所:6施設 入居事業者:6事業者

コンテンツビジネスの創出

- ソーシャルゲーム等の開発やその他のコンテンツビジネスに取り組もうとする県内企業を官民協働で支援
⇒高知発コンテンツビジネスの事業化
事業化プラン認定10件(ソーシャルゲーム7件、その他3件)(H22~27年度)
⇒県内企業によるソーシャルゲームの開発
7件のゲーム化、新規雇用者数:83人(いずれもH23~27年度)
- 県外コンテンツ関連企業の県内誘致による雇用の場の創出
⇒県内誘致 2社(H25~27年度)

「ものづくりの地産地消」が進展

- ものづくり地産地消センターの設置(H23年度)
⇒「ものづくり」に関して寄せられる様々な相談に対して一元的に対応
相談件数:603件 マッチング件数:176件(H27年度)
※産業振興センター-外商支援部と統合し、ものづくり地産地消-外商センターに改編(平成26年度~)
- 試作開発への支援(ものづくり産業強化事業費補助金)
⇒79件(H23~H27年度) ※完了件数
例)可動設置型循環式水洗トイレ、流出防止装置付農業用防災重油タンク、柑橘搾汁機械システム
- 食品加工試作機能の強化(食品加工研究棟の設置)(H23年度)
⇒県内事業者が加工食品の試作開発が行えるよう、工業技術センター内に設置のべ利用回数:76回(H27年度)

11 地域アクションプランの主な取り組み



さらなる挑戦へ！ きめ細かくサポート！

一つひとつの取り組みが実を結び、しっかりとビジネスとして育ち、さらに地域の中で他の事業とつながることで地域の基幹産業として育っていくよう、支援していきます。

仁淀川地域 36事業

- 仁淀川流域茶の生産体制の強化と販売促進
- 薬用作物の産地拡大による所得の向上
- 力強い高糖度トマト産地の確立
- 本川きじの販路拡大
- 地域性の高い特用林産物の生産拡大
- 自伐型林業を核とした産業づくりと地域の活性化
- 宇佐の一本釣りうるめいわしのブランド化
- 「土佐和紙」の販売促進と保存・継承
- 「ドラゴン広場」を核にした高岡商店街の活性化
- 地域産品を活用した冷菓等の製造販売
- ㈱フードプランのカット野菜事業等の展開による雇用の確保と販売拡大
- 「村の駅ひだか」を拠点とした交流人口の拡大と地域の活性化
- 「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進
- 新** 体験型観光の拠点となるキャンプ場の整備による交流人口の拡大と地域の活性化
- 「屋形船仁淀川」を核とした交流人口の拡大と地域の活性化 など

幡多地域 46事業

- 高知県産洋ランのブランド確立・流通促進事業
- 新** 四万十ぶしゆかん産地の形成とブランド化事業
- 町内の持続可能な山林資源を活用した製炭事業
- レストランチェーンと連携した地域水産物の流通・加工体制の推進事業
- 宿毛湾の養殖魚を中心とした付加価値の高い加工品の販売事業
- 四万十川の環境と資源を活用した産業振興事業
- 新** 昭和初期からの地域伝統商品の販売拡大等事業
- 土佐清水メジカ関連産業再生プロジェクト
- 新** 幡多地域産品販売体制構築事業
- 売り出せ西土佐プロジェクト推進事業
- 新** 地元農産物等を活用したペット関連商品の開発・販売拡大事業
- 新** 四万十の地域食材を中心とした商品開発・販売事業
- 新** 素材の特性を活かした地域色豊かな冷凍加工食品の開発・製造・販売事業
- 新** 三原村のどぶろくによる地域活性化事業
- 新** 地域産トマトの加工・販売の推進事業
- 新** 天日海塩を活用したビジネス推進事業
- 幡多広域におけるスポーツツーリズムを核とした交流人口拡大プロジェクト など

高幡地域 41事業

- JA土佐くろしおが担う地域農業の活性化
- 業にんにくを活用した加工食品の生産・販売の拡大
- 大野見米のブランド化
- 梶原産キジ肉の生産・販売の拡大
- つの茶販売戦略
- みどり市を核とした「地消産地」の推進
- 四万十の栗再生プロジェクト
- 滞在型市民農園等を活用した四万十町の移住を受け入れやすい風土づくり
- 新** 四万十町畑作振興プロジェクト
- 四万十のうまい豚プロジェクト
- 「1億円産業の復活」をスローガンとする津野山産原木シイタケの産地化の推進
- 野見湾産養殖カンパチの販路拡大
- 中土佐町地域ブランドの創出と販売促進
- 津野町産地消・外商販売戦略
- 高幡地域における広域観光の推進
- 新** 須崎市立スポーツセンターを活用した体験型観光等の推進による地域の活性化
- わざわざいこう「海洋堂ホビー館四万十」を核としたミュージアムのまちづくり など

高知市地域 30事業

- ナシ産地の生産安定及びブランド強化
- 四方竹のブランド化による中山間地域の振興
- 「まるごと有機プロジェクトの推進」による中山間地域の振興
- 新** 伝統作物の復活と関連産業の振興
- 新** 異業種間のコラボレーションによる新たな商品・サービスの創出
- 生乳加工品の製造・販売による新しい酪農経営モデルの創出
- 県産竹材を用いた新規分野への製品展開
- 「弘化台ブランドの創出」地元鮮魚を活用した食品の製造・販売
- 中心市街地における商業、観光等の基盤強化による都市機能の増進及び経済活力の向上
- 新** 日曜市をはじめとする土佐の街路市の活性化
- 近隣地域等との連携による滞在型・体験型観光の推進
- 本家よさこいのブランド力確立とよさこい文化の継承・発展
- 浦戸湾を活用した観光の振興
- 県民性を活かした外国人観光客受入態勢の充実 など

嶺北地域 23事業

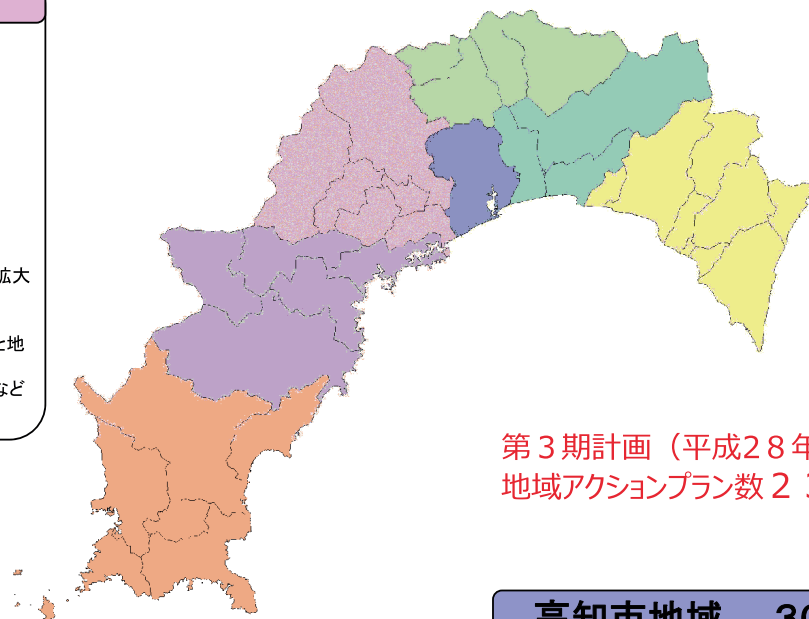
- JA出資型法人(株)れいほく未来を核とする地域活性化の取組
- 天空の郷ブランドによる地域活性化の取組
- (株)大豊ゆとりファームを核として地域資源の活用により地域産業を持続化させる取組
- 土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化
- 嶺北地域における林業クラスター化の取組
- 新** 嶺北の山林をフィールドとした「森の教習所」による担い手育成の取組
- 新** 嶺北地域の特産品販路拡大への支援
- 新** クラウドファンディングを活用した地域活性化
- ばうむ合同会社による地域資源(木材・米)活用の取組
- 新** 嶺北材を活かしたオリジナル木工品の製造・販売による地域活性化
- 新** 嶺北広域観光アウトドアの里づくり
- 新** 嶺北地域における山岳観光の拠点整備
- 新** 学生・若者と地域の連携による事業創出支援プラットフォーム「ONEれいほく」の構築
- 新** 大豊町西峯地区におけるビジネス創出による地域活性化の取組 など

物部川地域 27事業

- ニラの産地力強化「日本一のニラ産地の維持・拡大へ向けた仕組みづくり」
- 「なの市」「なのカフェ」の売上拡大による農家所得の向上
- 農園レストランによる地域食材の消費拡大
- 「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取組
- 新** ヤギミルクの生産体制強化及び流通促進事業
- 民有林における原木の増産
- シイラ等の加工商材活用
- 海洋堂ファクトリーと連携・運動した「ごめん」の賑わいづくり
- 地域産品を活用したヤ・シバパークを核とする地域の活性化
- 土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化
- 新** 三宝山プロジェクト など

安芸地域 31事業

- ユズを中心とした中山間振興
- 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化
- 芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大
- 安芸市のシラス漁業者所得の向上
- キラメッセ室戸「親市」を核とした地産地消・外商の拡大
- 海の駅東洋町を拠点とした地域振興
- 新** 有害鳥獣を活用した商品開発と販路開拓
- 道の駅「田野駅」の機能強化に向けた取組
- 安芸地域の観光振興の推進
- 世界ジオパーク認証を活かした観光の振興
- 岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進
- 北川村観光3施設の誘客強化による交流人口の拡大
- 新** 奈半利ブランドの確立と販路の拡大
- 安田中山地区の活性化プロジェクト
- 馬路村魚梁瀬地区の活性化プロジェクト
- 新** 集落活動センター「げいせい」を拠点とした“小さくてももっと元気で輝くむら”づくり など



第3期計画(平成28年度)の地域アクションプラン数234事業

12 地域アクションプランの取り組み事例

■地域アクションプラン数の推移

平成24年度：221 ⇒ 平成25年度：236 ⇒ 平成26年度：250 ⇒ 平成27年度：256

■主な支援策の活用状況（H24～H27累計）

- ・総合補助金 72事業
- ・専門家の派遣 163件、延べ499回

■地域アクションプランによる雇用の創出 1, 145人

（第1期（H21～H23）623人、第2期（H24～H27）522人）

- ・うち総合補助金導入事業関連 641人

（第1期（H21～H23）312人、第2期（H24～H27）329人）

幡多地域の主な取り組みと成果（H24～27）

洋ランのブランド確立・流通促進事業 【宿毛市】

洋ラン

＜石田蘭園、蘭遊六志会＞

取り組みの内容

- ・洋ラン集出荷施設の整備（H26）
- ・ネットショップ立ち上げ、カタログ販売等による販売促進の強化
- ・高知県洋蘭生産組合トレードフェアを大阪で開催（H26・27）
- ・切り花販売等による新事業展開

今後の方向性

- ・市場ニーズに対応した新たな事業展開
- ・国内外の新たな市場の開拓

主な成果

- ・石田蘭園 売上高 80,438千円（H26）
- ・石田蘭園 切花出荷本数 2,000本（H24）→115,000本（H27）



三原村農業公社を核とした農業支援システムの構築 【三原村】

ユズ

＜(公財)三原村農業公社等＞

取り組みの内容

- ・ユズの生産拡大
- ・研修生の受入（H27）
- ・加工施設の整備（H26～27）

今後の方向性

- ・新規就農者の確保と育成、青果率の向上など、ユズ生産体制の強化
- ・集落活動センターとの連携強化
- ・ユズ加工品の磨き上げと販売促進

主な成果

- ・雇用の創出 10人（うち長期2人、短期8人）
- ・ユズの栽培面積 31ha（H24）→43.3ha（H27）



町内の持続可能な山林資源を活用した製炭事業 【大月町】

土佐備長炭

＜大月町備長炭生産組合＞

取り組みの内容

- ・製炭窯の整備 7基増設（H24・26）
- ・備長炭生産者の育成

今後の方向性

- ・生産量の安定と技術向上
- ・生産者の収益アップに向けた新たな販売ツールの確立

主な成果

- ・生産量の増大 22トン（H22）→122トン（H27）
- ・生産者の増加 8人



加工場の整備による付加価値の高い養殖魚の加工品の推進 【宿毛市】

ブリの加工品

＜(株)勇進＞

取り組みの内容

- ・加工施設の整備（H27）
- ・各種商談会等による販路の拡大
- ・社員教育の実施等、衛生管理体制の強化

今後の方向性

- ・海外展開を視野に入れた販路の拡大
- ・新施設での量産体制に対応した雇用の拡大

主な成果

- ・売上高 0円（H25）→43,000千円（H27）
- ・雇用の創出 4人（うち長期1人、短期3人）
- ・新規取引先 27社（H27）



宿毛近海の水産資源を活用した地域ブランド確立・推進事業 【宿毛市】

カツオ・ブリの加工品

＜(株)沖の島水産＞

取り組みの内容

- ・土佐MBA「目指せ弥太郎！商人塾」への参加（H23・25・26）
- ・加工施設整備（H26）
- ・居酒屋産業展、シーフードショー、スーパーマーケットトレードショー等への出展

主な成果

- ・雇用の創出 12人（うち長期6人、短期6人）
- ・売上高 800万円（H22）→3.0億円（H27）

今後の方向性

- ・生産拡大に向けた設備の増強
- ・市場ニーズに対応した新商品の開発
- ・社員教育プログラムの充実・強化



キビナゴ加工商品の生産体制強化 【大月町】

きびなごケンピ

＜八重丸水産（株）＞

取り組みの内容

- ・県外商談会等による外商活動の展開
- ・味の改良やパッケージのリニューアルなど商品のブラッシュアップ

今後の方向性

- ・市場ニーズを踏まえた新商品の開発
- ・新たな取引先の開拓

主な成果

- ・きびなごケンピ売上高 23,960千円（H23）→25,950千円（H26）
- ・fish-1グランプリで大日本水産会長賞を受賞（H27）



土佐清水市発！宗田節が良くなる加工施設整備・販路拡大事業 【土佐清水市】

宗田節

＜(株)ウェルカムジョン万カンパニー＞

取り組みの内容

- ・各種商談会、催事等を通じた販促活動の展開
- ・新加工場の整備（H26）

主な成果

- ・「だしが良くなる宗田節」が日本野菜ソムリエ協会主催の調味料選手権で優秀賞を受賞（H26）
- ・新商品「宗田節おかき」が「高知家土産物コンクール2015」大賞を受賞（H27）
- ・売上高 22,000千円（H24）→61,644千円（H27）



今後の方向性

- ・高質系スーパーをメインターゲットとした販促活動の強化
- ・宗田節を活用した新商品の開発

四万十牛の商品開発・販売 【四万十市】

四万十牛

＜横山精肉、西土佐中央牧場＞

取り組みの内容

- ・生産拡大に向けた畜舎の増築
- ・四万十牛の焼肉屋の開業
- ・四万十牛を活用した加工品づくり

主な成果

- ・雇用の創出 3人（うち長期3人）
- ・飼育頭数 50頭（H24）→100頭（H27）

今後の方向性

- ・道の駅「よつて西土佐」と連携した加工商品の販売促進
- ・四万十牛の安定的な生産体制づくり



地域資源を統括したプログラム構築によるしみずの元気再生事業 【土佐清水市】

地域食材の加工

＜(株)土佐清水元気プロジェクト、土佐清水市＞

取り組みの内容

- ・県外での各種商談会、催事等を通じた外商活動の展開
- ・地域食材を活かした特産品の開発

主な成果

- ・雇用の創出 3人（うち長期3人）
- ・売上高 1.18億円（H22）→1.71億円（H27）

今後の方向性

- ・売れ筋商品を核としたラインナップの強化
- ・グループ会社と連携した商談会等での外商活動の強化



水産物加工施設整備事業 【黒潮町】

水産物の加工

＜(有)土佐佐賀産出出荷組合＞

取り組みの内容

- ・新たな加工施設の整備（H26）
- ・県内外での商談会等を通じた販促活動の展開
- ・新商品開発

主な成果

- ・雇用の創出 3人（うち長期3人）
- ・取引業者数 40社（H23）→78社（H27）

今後の方向性

- ・衛生管理体制の強化（県版HACCPの取得）
- ・新商品（ファストフィッシュ等）の開発
- ・既存取引先と連携した商品づくり及び新規取引先の開拓



佐賀地区の地域資源を活用した拠点ビジネスの推進 【黒潮町】

道の駅「なぶら土佐佐賀」

＜黒潮町、(株)なぶら土佐佐賀＞

取り組みの内容

- ・地域の連携による運営主体（(株)なぶら土佐佐賀）設立
- ・道の駅の整備（H26）
- ・幡多地域における東の玄関口として観光案内の開始

主な成果

- ・雇用の創出 17人（うち長期9人、短期8人）
- ・売上高 0円（H25）→162,410千円（H27）

今後の方向性

- ・地域食材を活かした新たな特産品や食事メニューの開発
- ・誘客促進に向けたイベントの開催や町内の観光施設等との連携強化
- ・観光案内拠点としての機能強化



幡多広域におけるスポーツツーリズムの推進を核とした交流人口の拡大 【幡多地域全域】

都市部との交流人口の拡大

＜(一社)幡多広域観光協議会＞

取り組みの内容

- ・モニターツアーの実施
- ・合宿や大会等の誘致活動の実施
- ・幡多のスポーツツーリズムの確立に向けた地域の連携体制や環境整備

主な成果

- ・合宿等受入（黒潮町） 22回1,720人泊（H24）→26回5,119人泊（H27）

今後の方向性

- ・広域観光組織を核とした幡多地域のワンストップ窓口機能の仕組みづくり
- ・スポーツ合宿と一体となった体験プログラムの造成
- ・合宿、大会誘致に向けたプロモーション活動の更なる充実、強化



高幡地域の主な取り組みと成果(H24~27)

業にんにくを活用した加工食品の生産・販売の拡大

業にんにくのたれ

【須崎市】
〈㈱アースエイド〉

取り組みの内容

- ・製造設備の整備(H25)
- ・県内外での展示商談会等への出席
- ・マスコミ、雑誌を活用した情報発信

今後の方向性

- ・常温で販売できる商品の開発
- ・取引先の開拓

主な成果

- ・売上高 0円(H24) →19,203千円(H27)
- ・雇用の創出 6人(うち長期3人、短期3人)
- ・高知県地場産業大賞奨励賞受賞(H26)



四万十の栗再生プロジェクト

【四万十町】

四万十の栗

〈四万十の栗再生プロジェクト推進協議会〉

取り組みの内容

- ・おちゃりカフェオープン(H26)
- ・栗生産力向上のための技術指導の強化
- ・マスコミ等への露出と外商活動

今後の方向性

- ・生産者部会の組織強化
- ・新商品の開発と販売促進

主な成果

- ・おちゃりカフェ実績
- ・売上高 33,320千円(H26) →68,756千円(H27)
- ・来店者数 10,897人(H26) →18,759人(H27)



滞在型市民農園等を活用した四万十町の移住を受け入れやすい風土づくり

【四万十町】

クラインガルデン

〈四万十町、営農支援センター四万十(株)〉

取り組みの内容

- ・施設内、町内イベント等での住民との交流促進
- ・移住相談窓口やお試し滞在施設の運営

主な成果

- ・施設稼働率 94.7%(H27)
- ・移住相談窓口への相談件数 134件(H25)→701件(H27)
- ・移住実績 9組18人(H24) →26組45人(H27)
- (H24~H27累計69組127人)

今後の方向性

- ・移住定住促進の仕組みづくり
- ・相談窓口体制と移住サポーターの活動の充実



「1億円産業の復活」をスローガンとする津野山産原木シイタケの産地化の推進

【梶原町・津野町】

原木シイタケ

〈JA津野山〉

取り組みの内容

- ・共同ほだ場の整備(H23)による生産体制の強化
- ・生産者組織(億産会)の設立と販売促進活動

今後の方向性

- ・乾燥シイタケを使った料理の提案による販路拡大
- ・加工品の開発

主な成果

- ・乾燥シイタケの販売量 2.2t(H22)→3.9t(H27)



中土佐町地域ブランドの創出と販売促進

【中土佐町】

ぴんぴ (スラリーアイス活用)

〈中土佐町〉

取り組みの内容

- ・「ぴんぴ」及び第2ブランド「上々」の販促活動(百貨店や各県人会等)
- ・水産加工施設の整備(H26)

今後の方向性

- ・商談会への参加等を通じた販路拡大
- ・新商品の開発

主な成果

- ・「上々」鰹たたきセットの取扱業者数 2業者(H26)→11業者(H27)
- ・三越特招会、グルメ通販等での取扱 1,986千円(H26)→3,749千円(H27)



津野町地産地消・外販販売戦略

【津野町】

津野町アンテナショップ「満天の星」

〈(株)津野町ふるさとセンター、津野町〉

取り組みの内容

- ・高知市内アンテナショップのオープン(H24.4月)
- ・新茶まつりなどのイベント開催
- ・新商品の開発

今後の方向性

- ・特産品(つの茶、津野山牛)の認知度向上
- ・定期的なイベント開催

主な成果

- ・「満天の星大福」が高知県地場産業大賞産業振興計画賞受賞(H24)
- ・雇用の創出 40人(うち長期40人)
- ・(株)満天の星 販売額 0円(H22)→208百万円(H27)
- ・津野町ふるさとセンター販売額 136百万円(H22)→154百万円(H27)



仁淀川地域の主な取り組みと成果(H24~27)

うるめのブランド化

【土佐市】

一本釣りうるめいわし

〈企業組合宇佐もん工房〉

取り組みの内容

- ・県内外の商談会等へ出席
- ・新商品の開発
- ・ネット販売、食事処の運営
- ・「一本釣りうるめ祭り」の開催

今後の方向性

- ・加工施設の規模拡大及び衛生管理の強化による販路拡大
- ・加工品開発
- ・原材料(うるめ)の確保
- ・漁業者の後継者確保

主な成果

- ・売上高 5,493千円(H22) →86,445千円(H27)
- ・雇用の創出 13人(うち長期3人、短期10人)



地域産品を活用した冷菓等の製造販売

【いの町】

〈(株)高知アイス〉

アイスクリーム、シャーベット

取り組みの内容

- ・製造施設の整備(H26)
- ・直営売店のリニューアル(H26)
- ・国内外での商談会等への出席
- ・ハラル認証の取得
- ・新商品の開発

今後の方向性

- ・国内外での販路拡大に向けた営業力の強化
- ・海外市場進出のための商談会等への出席
- ・直営売店2号店の出店
- ・新商品の開発

主な成果

- ・雇用の創出 6人(うち長期3人、短期3人)
- ・海外市場での売上高 5,554千円(H22)→36,915千円(H27)
- ・直営売店での売上高 3,973千円(H22)→23,662千円(H27)



直販市の機能強化(生産・出荷の拡大及び観光情報発信等)による地域の活性化

【日高村】

村の駅ひだか

〈日高村、(株)村の駅ひだか〉

取り組みの内容

- ・運営会社「(株)村の駅ひだか」設立
- ・直販所「村の駅ひだか」がリニューアルオープン(H26.11月)
- ・併設の「村の案内所ひだか」による観光情報発信

今後の方向性

- ・売上、来客者、イベント等の分析に基づく商品の品揃えの充実
- ・出荷者の増、集荷体制の整備
- ・特色ある商品づくりや魅力的な加工品の開発

主な成果

- ・直販所の販売額 59,126千円(H23:旧さんさん市) →197,175千円(H27)
- ・レジ通過者数 69,687人(H23:旧さんさん市) →192,511人(H27)



屋形船を活用した拠点施設の整備による交流人口の増と地域の活性化

【日高村】

屋形船仁淀川

〈日高村、(株)屋形船仁淀川〉

取り組みの内容

- ・(株)屋形船仁淀川を設立
- ・運航開始(H24.5月)
- ・屋形船発着場周辺にトイレ、遊歩道を整備(H26)
- ・遊覧コースのガイド本、多言語版の遊覧マップ及び観光案内看板の作成(H27)

主な成果

- ・乗船者数 1,785人(H24) →3,992人(H27)
- ・仁淀川流域の新たな観光資源として定着

今後の方向性

- ・ツアー客や外国人観光客の増加に向けた集客力の向上と情報発信
- ・観光客へのおもてなし(遊覧ガイドの育成・体験メニューの開発等)の向上
- ・地域コミュニティと協調した観光拠点施設の整備



仁淀川流域茶の生産から販売までの一貫体制の強化による販売額の向上

【いの町、仁淀川町、佐川町、越知町、日高村】

沢渡茶

〈(株)ババ沢渡〉

取り組みの内容

- ・(株)ババ沢渡設立(H26.4月)
- ・「沢渡茶」、「香る茶」、「俺の番茶」、「円茶」等の開発・販売
- ・食べるお茶シリーズ「茶大福」、「ゼリー・パンナコッタ」を開発・販売

今後の方向性

- ・新たな販売拠点となる「カフェ」の整備

主な成果

- ・「茶大福」がJAL国内線ファーストクラス機内食や香港の高級スイーツ店イ・クレミアに採用
- ・高知県地場産業大賞地場産業賞受賞(H27)
- ・雇用の創出 1名(うち長期1名)



(株)フードブランを中心とした農山村6次産業化の推進

【仁淀川町】

カット野菜等の製造と販売拡大

〈(株)フードブラン、仁淀川町〉

取り組みの内容

- ・経営分析、経営計画づくり
- ・カット野菜等のブランド「TABLE*VEGI」を開発
- ・農工商等連携事業計画の認定を受け、野菜を加工した新商品(ウネグレットソース、生姜焼きのたれ)を開発

今後の方向性

- ・経営改善の実践と新商品の整備
- ・収益率の高い新商品の開発と販売促進

主な成果

- ・雇用の創出 14人(うち長期14人)(雇ユーザー数 60人(H27))
- ・売上高 3.2億円(H22)→4.7億円(H27)



「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進【仁淀川地域全域】

仁淀川流域観光の推進 〈仁淀川地域観光協議会等〉

取り組みの内容

- ・流域市町村等と連携した旅行商品の企画・セールス
- ・仁淀川流域の観光情報発信
- ・広域観光推進にかかる中長期計画の策定(H26)
- ・(一社)仁淀ブルー観光協議会を設立(H27.12月)

今後の方向性

- ・観光資源の旅行商品化、継続したセールス活動
- ・「奇跡の清流仁淀川」ブランドを生かした情報発信の強化
- ・観光に携わる人材の育成
- ・安定した組織運営(自主財源の確保、旅行業の登録、日本版DMOの登録等)

主な成果

- ・協議会のセールスで実現したツアー 30本 663人(H23) →147本 3,784人(H27)



嶺北地域の主な取り組みと成果（H24～27）

榊大豊ゆとりファームを核として地域資源の活用により地域産業を持続化させる取組 **【大豊町】**

碁石茶

＜榊大豊ゆとりファーム、大豊町碁石茶協同組合等＞

取り組みの内容

- ・イベント出展等による販促活動
- ・県外商談会での商談

主な成果

- ・新規取引先 237社（H24～H27累計）
- ・関連商品の総販売額 0.2億円（H22）→1.09億円（H27）

今後の方向性

- ・茶葉や加工品の販路拡大
- ・固定客の確保・拡大



土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興 **【本山町、大豊町、土佐町】**

土佐あかうしの生産基地

＜JA土佐れいほく、れいほく未来等＞

取り組みの内容

- ・畜舎整備（H24～26）
- ・繁殖雌牛の導入
- ・繁殖活動
- ・子牛の飼養



主な成果

- ・繁殖雌牛導入数 14頭（H24導入開始）→87頭（H27）
- ・累計88頭
- ・販売額 1.9億円（H22）→2.71億円（H27）

今後の方向性

- ・繁殖雌牛及び肥育牛の増頭
- ・繁殖から肥育までの一貫した生産管理の徹底
- ・6次産業化に向けた取り組み

米のブランド化による稲作農業の展開 **【本山町】**

土佐天空の郷

＜本山町特産品ブランド化推進協議会、(財)本山町農業公社、本山町酒づくり協議会、ばうむ合同会社等＞

取り組みの内容

- ・ブランド米の生産増、販路拡大
- ・ブランド米を活用した加工品（米焼酎）の開発、製造販売

主な成果

- ・ブランド米の販売額 3,120万円（H22）→3,531万円（H27）
- ・お米のコンクール金賞受賞（H27）



嶺北地域の連携による移住促進の取組

移住・定住人口の拡大

【嶺北地域全域】

取り組みの内容

＜れいほく田舎暮らしネットワーク等＞

- ・れいほく田舎暮らしネットワークと4町村が連携した移住促進の取り組みを展開
- ・移住相談・空き家調査の実施
- ・移住体験ツアーの実施

今後の方向性

- ・事務局体制の強化
- ・移住希望者のニーズに沿った情報発信

主な成果

- ・移住相談件数 258件（H24）→339件（H27）（H24～H27累計1,164件）
- ・移住実績 55人（H24）→117人（H27）（H24～H27累計331人）



JA出資型法人を核とする地域活性化の取組 **【土佐町】**

農業の担い手育成

＜JA土佐れいほく、れいほく未来等＞

取り組みの内容

- ・大阪圏の自治体及び企業等との連携による農業の担い手の育成（インターンシップ研修）
- ・新規就農研修支援事業による研修実施



主な成果

- ・都市部からのインターンシップ研修受入 74人（H25取り組み開始～H27の累計）
- ・新規就農研修支援事業による研修生 5人

今後の方向性

- ・インターンシップ研修終了後の就農支援の展開
- ・大阪圏自治体との連携強化

大型製材工場の設置による地域材の利用の促進

高知おおとよ製材

【大豊町】

＜高知おおとよ製材機等＞

取り組みの内容

- ・工場の稼働（H25）
- ・本格稼働に向けた体制の強化及び増産

今後の方向性

- ・地域内での原木供給体制の確立



主な成果

- ・雇用の創出 47人（うち長期 47人）

高知市地域の主な取り組みと成果（H24～27）

県産竹材を用いた新規分野への製品展開

自動車用竹ハンドル

＜株式会社モエ工房＞

取り組みの内容

- ・竹製自動車ハンドルの素材の製造開始
- ・竹シート、竹ブラシ等の製造開始
- ・新たな分野への販路開拓

主な成果

- ・須崎地区森林組合等との連携による竹材確保の仕組みの構築
- ・雇用の創出 16人（うち長期16人）

今後の方向性

- ・竹産業の集積化に向けた県内全域からの竹材供給体制の確立、新製品の開発及び販売促進



「まるごと有機プロジェクト」による中山間地域の振興

まるごと有機プロジェクト

＜駒産地とさやま開発公社＞

取り組みの内容

- ・有機栽培のショウガやユズを使った加工商品の製造・販売
- ・新たな加工品（菓子類）の開発
- ・有機野菜の生産・販売
- ・四方竹の生産及び加工・販売
- ・土づくりセンターでの有機堆肥の生産・販売

今後の方向性

- ・新たな加工施設の整備
- ・さらなる販路の開拓及び拡大

主な成果

- ・販売額 84,000千円（H22）→137,000千円（H27）



生乳加工品の製造・販売による新しい酪農経営モデルの創出

岡崎牧場

＜高知市酪農農業協同組合＞

取り組みの内容

- ・安心・安全な生乳加工品の製造・販売
- ・観光地や教育の場として牧場を活用
- ・新商品の開発

今後の方向性

- ・新規顧客の開拓とリピーターの確保
- ・顧客ニーズに合った商品開発

主な成果

- ・酪農教育ファームの受入増加 353人（H22）→1,214人（H27）
- ・店舗の販売額 8,173千円（H22）→13,176千円（H27）



春野地区の農産物（トマト等）の付加価値向上

地元の農産物を使った加工品

＜南スタジオ・オカムラ等＞

取り組みの内容

- ・地元農家と連携し、高品質な飲料・ソース等加工食品を製造
- ・首都圏の百貨店・高質系スーパーでの販売
- ・ターゲットを絞ったブランディングと販路の確保

今後の方向性

- ・量的にまとまりのある新たな販路の開拓
- ・独自性の高い新商品の開発
- ・OEM生産の拡大

主な成果

- ・普及価格帯商品やOEM受注による売上の拡大
- ・販売額 0円（H22）→45,110千円（H26）



「食」の提供による地域農産物の消費拡大

JA女性部による総菜づくり

＜JA高知市、JA高知市女性部＞

取り組みの内容

- ・総菜等の加工施設の整備（H25）
- ・産振アドバイザーの活用による直販店舗の運営改善等

主な成果

- ・販売額 1,500万円（H22）→2,513万円（H27）
- ・雇用の創出 6人（うち長期6人）

今後の方向性

- ・メニューの拡大などによる直販所の運営強化
- ・さらなる雇用の拡大



れいほくブランドの園芸産地の維持

れいほく八菜・八花

【嶺北地域全域】

取り組みの内容

＜JA土佐れいほく（園芸部会、花卉部会）、直販生産部会土佐町支部＞

- ・「れいほく八菜」担い手育成に向けた研修会の充実
- ・「れいほく八花」ノーブル由来の新品種の生産技術確立
- ・雨よけレンタルハウスの設置
- ・県内外の市場への販売促進活動
- ・ノーブル由来新品种の登録申請（3品種）

今後の方向性

- ・地域農業の核となる担い手の育成
- ・れいほくブランドの確立

主な成果

- ・新規就農者数 16人（H24～H27累計）



県民性を活かした外国人観光客受入態勢の充実

外国人観光客への高知流おもてなし

＜高知おせっかい協会＞

取り組みの内容

- ・中心商店街等の店舗におけるメニュー等の多言語化の推進
- ・「外国人観光客に対する接客講座」の開催
- ・大型クルーズ客船寄港時の観光案内

今後の方向性

- ・各店舗における外国人観光客に対する接客レベルの向上
- ・メニューの多言語化店舗数の拡大
- ・オセッカイ認定者数の拡大

主な成果

- ・おせっかい協会によるメニュー等の多言語化店舗数 0店舗（H26）→35店舗（H27）
- ・オセッカイ認定者数 0人（H26）→109人（H27）



近隣地域等との連携による滞在型・体験型観光の推進

体験型旅行商品（とさ恋ツアー）

＜株式会社西館＞

取り組みの内容

- ・第2種旅行業免許を活用した新商品の開発
- ・ガイドブックの発行（多言語化）
- ・県下全域での旅行商品づくり

今後の方向性

- ・さらなる旅行商品づくりと情報発信

主な成果

- ・新たな旅行商品の作成 32コース（H26）→56コース（H27）
- ・利用客数 1,118人（H22）→3,300人（H27）



物部川地域の主な取り組みと成果（H24～27）

直販所「あけぼの市」の機能強化による農家の所得向上及び交流人口の拡大 【南国市】

「なの市」「なのカフェ」 <JA長岡>

取り組みの内容


- 直販所「あけぼの市」を移転した「なの市」と新設の飲食店「なのカフェ」の開業（H26）
- 近隣観光施設と連携した集客イベント「あけぼの街道ひまわりフェスタ」の開催

今後の方向性

- 利益率が高く客層にあった新商品、新メニューの開発
- 経費削減等による経営面の強化

主な成果

- 直販所等の販売額 33,000千円（H22）→163,013千円（H27）
- 直販所等における雇用の創出 22人（うち長期7人、短期15人）



「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取組 【南国市】

ごめんケンカシャモ <企業組合ごめんシャモ研究会等>

取り組みの内容


- 孵卵施設の整備（H25）
- 「シャモ鍋セット」、「シャモスキやきセット」の開発・販売
- 「H25 土佐の食1グランプリ」で「シャモスキやき」が優勝

今後の方向性

- 高知農業高校との連携等による生産体制の強化
- 新商品の開発、商談会出展等による販路開拓

主な成果

- 南国市内シャモ提供店舗数 15店舗（H23）→19店舗（H27）
- 売上高 8,210千円（H23）→39,258千円（H27）



地産地消・食育の推進 【南国市】

地産地消 <農業生産法人（株）南国スタイル、農家レストランまほろば畑、（株）ナイフアンドフォークカンパニー等>

取り組みの内容


- 学校給食、業務筋への供給体制の整備
- 農家レストラン「まほろば畑」の運営
- 地産地消型レストランの開業（H27.10月）

今後の方向性

- 学校給食・業務筋への地域食材の供給拡大
- 農家レストラン「まほろば畑」の運営体制の強化

主な成果

- 学校給食への地元野菜の供給金額（割合） 3,080千円（10.71%）（H22）→8,013千円（26.35%）（H27）
- 雇用の創出 43人（うち長期28人、短期15人）



香美市ブランドの確立・特産品づくり 【香美市】

ユズ製品、シカニク製品 <香美市観光協会・食品加工グループ>

取り組みの内容

- ユズ皮を使った新商品の開発（3アイテム）、販売（H25）
- 鹿肉メニューや特産品の販売・PRに向けた、べふ峡温泉スプリングフェスタ（4月29日 シカニクの日）の開催

今後の方向性

- 「奥ものブランド」の確立
- 食品加工グループの後継者の育成

主な成果

- 開発商品売上高 4,808千円（H22）→14,216千円（H27）



加工品販売による夜須地域の活性化 【香南市】

夜須のトレフルッタ <協同組合やすらぎ市>

取り組みの内容

- 加工施設の整備（H25）
- ゴロゴロメロンパンなど加工の特産品を使った加工品の開発及び販売

今後の方向性

- 摘果メロンを使った「おばちゃん漬け」などの新商品の開発

主な成果

- 加工品売上高 70,000千円（H22）→95,590千円（H27）
- 雇用の創出 5人（うち長期5人）



民有林における素材の増産 【物部川地域全域】

森の工場 <香美森林組合・物部森林組合等>

取り組みの内容


- 集約化団地の拡大
- 素材生産量の増大

今後の方向性

- 森の工場の拡大
- 素材の増産に向けた基盤整備

主な成果

- 森の工場整備済面積 9,400ha（H22）→19,223ha（H27）
- 民有林からの素材生産量 26,053m³（H22）→40,167m³（H27）



体験観光等の旅行商品化と販売の推進・地域の観光情報の発信 【香南市】


海から山から体験観光 <香南市観光協会等>

取り組みの内容

- 観光協会の一般社団法人化、旅行業第3種登録による旅行商品の造成・販売（長谷寺坐禅ツアー、土佐塩の道トレイルランニングレースなどの催行）
- サンライズ・サンセットシーカヤックモニターツアーの開催

今後の方向性

- 地域素材を使った旅行企画の開発と多様化



安芸地域の主な取り組みと成果（H24～27）

ユズを中心とした中山間振興 【室戸市、安芸市、安田町、北川村、馬路村】

ユズ <JA土佐あき、JA馬路村>

取り組みの内容


- 青果の生産拡大と果実品質向上のための新植・改植の推進
- 加工品を含むユズ果汁等の施設整備（H24）
- 国内外への積極的な販路の開拓（H24～）
- 全搾汁工場で県販HACCPを取得（JA土佐あき）（H26）
- アルミ缶対応ドリンク充填ラインの整備（H26）による飲料商品の改良（JA馬路村）

主な成果

- JA土佐あき > 青果出荷受入量 297t（H22）→337t（H27）
- フランス等ヨーロッパ諸国に4年連続で約3トン以上の青果を輸出 <JA馬路村>
- 加工品販売額 化粧品 1,700万円（H21）→1億7,000万円（H27）
- ポン酢他ゆず加工品 20億円（H21）→27.7億円（H27）

今後の方向性

- 安定生産に向けた新植、改植の推進
- ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓



土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化 【東洋町、室戸市】

土佐備長炭 <土佐備長炭生産組合、室戸市木炭振興会>

取り組みの内容


- 共同窯の整備 4基増設（H25）
- 備長炭生産者の育成
- 室戸市木炭振興計画の策定（H27）

今後の方向性

- 共同利用窯の増設
- 量産体制の強化
- 人材の育成

主な成果

- 生産者の増加 4人
- 販売額 土佐備長炭生産組合 1.43億円（H22）→1.93億円（H26）
- 室戸市木炭振興会 6,400万円（H22）→12,936万円（H26）



海の駅を拠点とした地域振興 【東洋町】

「海の駅」東洋町 <東洋町>

取り組みの内容


- 海の駅のオープン（H26.1月）
- フェイスブックによる情報発信
- 地域特産品を活用した飲食メニューの提供

今後の方向性

- 運営体制の強化
- 地域産品を活用した加工品の確保
- 地域の観光情報の発信

主な成果

- 来場者数 34,280人（H26.1月～3月）→174,122人（H27）
- 雇用の創出 11人（うち長期8人、短期3人）
- 販売額 31,115千円（H26.1月～3月）→161,151千円（H27）



加工体制の強化等によるシラスの魚価等の向上 【安芸市】

シラス <瀬安芸水産、安芸漁協等>

取り組みの内容


- 最新式の設備を導入した加工施設の整備（H24）
- アドバイザー活用による商品開発
- シラスの飲食施設のオープン（H25）

主な成果

- 水揚げ金額 189,231千円（H23）→213,019千円（H27）
- 加工施設の販売額 0円（H23）→122,503千円（H27）
- 雇用の創出 16人（うち長期16人）

今後の方向性

- 加工処理能力の向上に対応できる漁業生産体制の構築
- 安芸漁港の活性化
- 製造体制の強化、衛生管理の向上及び販路拡大



世界ジオパーク認証を活かした観光の振興 【室戸市】

室戸ジオパーク <室戸市、室戸ジオパーク推進協議会等>

取り組みの内容


- 日本ジオパーク全国大会（室戸大会）の開催（H24）
- 室戸世界ジオパークセンターオープン（H27）
- 世界ジオパーク再認定（H27）
- ジオツアーのコース造成
- ジオガイドの養成

主な成果

- ジオガイド登録者数 20人（H22）→53人（H27）
- ジオパーク関係施設来訪者 53,473人（H22）→103,065人（H27）

今後の方向性

- 拠点施設の円滑な運営と機能強化
- ガイド養成、ジオツアー等の受入態勢強化
- ジオサイトの整備



安芸地域の観光振興の推進～東部地域博覧会の開催～ 【安芸地域全域】

安芸地域の広域観光の推進（東部博）

取り組みの内容


- 高知県東部地域博覧会（高知家・まるごと東部博）開催（H27）
- 東部博開催に伴う新たなイベントや体験プログラムの造成及び観光拠点等の整備・磨き上げ
- 観光ガイド等の人材育成
- 広報及びセールス活動の実施
- 教育旅行誘致活動の実施（H26～）及び受入民泊世帯の拡大
- 市町村や分野を超えた広域での連携が進んだことによる広域観光組織の設立（H27）

主な成果

- 東部博開催による集客増（宿泊者数を含む） 2,313,000人（H23～H25平均）→2,540,050人（H27）
- 東部博開催による観光消費額（推計） 750,852千円
- 新たな体験プログラムの造成 15件

今後の方向性

- 県内外への情報発信等による入込客数の確保
- 体験プログラム等の磨き上げ
- マーケティングに基づく戦略づくり、地域内の連携強化・地域住民の巻き込み、人材育成



キラメッセ室戸「楽市」の機能強化 【室戸市】

キラメッセ室戸「楽市」 <室戸市>

取り組みの内容

- 加工施設の整備（H27.8月）
- 新たな加工品の開発
- 県外の店舗・アンテナショップへ野菜等を出荷

主な成果

- 来場者数 244,968人（H23）→246,958人（H27）
- 販売額 256,649千円（H23）→344,094千円（H27）

今後の方向性

- 農業の6次産業化の推進
- 販路拡大と集荷体制の整備

